

宮城県臨床検査技師会学術研修会報告書

平成 25 年 9 月 9 日

学術部長 氏家和明

研修会名：「糖尿病合併症と臨床検査」

会場：大崎市民病院 情報支援センター講義室

日時：平成25年9月7日（土） 14：00～17：00（13：30～受付開始）

参加者 会員55名 賛助会員12名 非会員5名 実務委員6名 計78名

内容

レクチャー1：14:00～14:30 （30分）

「制度から見る糖尿病関連検査～新ガイドラインや新基準について～」

アークレイマーケティング(株) 学術センター データマネジメントチーム

二村 祥平 先生

糖尿病治療の主目標は、合併症の予防であり、その詳細は短期的、中期的、長期的に分類され、それぞれ、HbA1c の新コントロールの目標、CKD 診療ガイドの改訂点、糖尿病透析予防指導管理料の設定が対応している。これら詳細点について、エビデンスや背景を含めて復習した。

レクチャー2：14:30～15:00（30分）

「糖尿病治療薬の変遷」

武田薬品工業株式会社医薬営業本部仙台営業所 高橋 真実子 先生

主な経口血糖降下薬、インスリン抵抗性改善薬（TZD、BG 薬）、インスリン分泌促進薬（DPP-4 阻害薬 SU 薬、グリニド薬）、食後高血糖改善薬（ α -グルコシダーゼ阻害薬、グリニド薬）について、作用機序、服用に伴う注意点、そして最新の話題について講義いただいた。

特別講演：15:15～16：15

「糖尿病性腎症と臨床検査」大崎市民病院本院診療部第3腎臓・内分泌内科科長

杉浦 章 先生

腎臓内科医の治療目標、透析導入患者の主要原疾患が糖尿病性腎症であること、透析患者の動向、糖尿病性腎症の診断ポイント、病期分類、Point of no return について 糖尿病性腎症の病態と尿アルブミンの関係 腎生検、尿検査、生化学検査、エコー検査などの臨床検査のポイントを、症例を踏まえながら講義いただいた。

今回、予想参加人数を 50 人としていましたが、78 名の方の参加があり、資料が不足し、会員の皆様方には大変ご迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。資料は速やかに、事務所から送らせていただきます。
